

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号 17 白井市地域福祉計画策定事業（社会福祉課）

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
委員公募の際のメール配信について、どのような対象にどのように配信したのか教えてください。	メール配信サービス登録者の中で、以下の情報について配信を希望している方を対象としています。 ①健康・福祉・医療情報 ②委員・職員募集情報
【パブリックコメントに関する質問】	
パブリックコメントにおける、電子申請サービスの活用が有効であったか否か教えてください。	市民活動支援課にも協力をいただき、7つの計画と1つの条例について、パブリックコメントを同時に実施するため、関係各課で協議、調整した結果、電子申請についても活用することとなりました。 地域福祉計画での利用はありませんでしたが、他の計画での利用について確認をしています。その人にあった利用方法が選択できる、選択肢の拡大という点においては、有効な手段であると考えます。
実施時期が年末年始に重なっていた点について、実施時期による回答率や意見提出数への影響について、担当課としてどのように受け止めているか、また次回以降どのような改善を検討されているかを教えてください。	多くの計画等がパブリックコメントを同時に実施する必要があり、関係各課で協議、調整した結果や、計画書の納品、パブコメ後に審議会等を開催するなど、計画策定のスケジュール等から、実施時期が年末年始に重なったことはやむを得ないものと考えます。 次回以降の検討につきましては、興味を持ってもらうため、多くの媒体を活用した周知方法や回答方法、また十分な実施期間を確保するなど、パブリックコメントに参加しやすい環境に努めていきたいと考えています。

【アンケート調査に関する質問】	
アンケートの発送件数を1,500件とした理由について教えてください。	これまでの地域福祉計画の策定に当たっては、アンケート調査が未実施であったことなどから、予算を含め事業者募集時点ではアンケート調査を実施する予定はありませんでした。 委託事業者が決定し、事業者との最終調整の段階で、アンケート調査を実施すべきと判断し、委託事業者と予算内で対応が可能な範囲等について協議を行い、1500件としたものです。
実施時期が年末年始に重なっていた点について、実施時期による回答率や意見提出数への影響について、担当課としてどのように受け止めているか、また次回以降どのような改善を検討されているかを教えてください。	アンケート調査を当初は予定していなかったこと、アンケート調査実施後の結果分析、審議会等の開催など、計画策定スケジュールの見直しから、実施時期が年末年始に重なったことはやむを得ないものと考えます。
アンケート調査の周知場所をホームページ、担当課窓口の2箇所とした理由を教えてください。	急遽、アンケート調査を実施することとしたことによるものです。
【意見交換会に関する質問】	
意見交換会の対象を選定した理由について教えてください。	地域福祉に関わりのある市民活動団体を対象として、ヒアリングシートを事前に配布し、回答のあった48団体から、地域福祉計画に位置付けのある高齢者、障がい者、子育て、健康の種別ごとに18団体を選定しました。
ヒアリングシートを送った団体で、ヒアリングを行わなかった団体が、ワークショップに参加されていることもあったのか、どのような属性の方が参加されたのか、可能な範囲で教えてください。	ヒアリングシートの回答があった48団体にワークショップの案内を配布しています。正確に把握しているものではありませんが、数名は参加いただいているものと認識しています。
【ワークショップに関する質問】	
ワークショップの対象を選定した理由について教えてください。	対象者につきましては、より多くの方に参加していただくため、対象者を限定せず、多くの方に参加いただけるよう配慮しました。
意見交換会では終了後に市民の意見を受け付けていますが、ワークショップにおいてその方法をとらなかった理由について教えてください。	意見交換会は、個々の団体の現状、課題等の意見を徴収するのに対して、ワークショップは、より良い地域にするためのアイディアの抽出など、地域福祉に関する施策等について、参加者同士の話し合いにより、その場で一定の方向性を導き出すこととしたためです。